



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年7月15日朝刊

## 解答例



土石流災害の現場で  
行方不明者の捜索に  
尽力した4頭の救助  
犬ら=12日、熱海市

## 救助犬4頭 懸命の捜索

泥まみれの現場において頼りに

熱海市伊豆山で発生した大規模土石流災害の現場で14日まで、4頭の災害救助犬が大量の土砂が流れ込んだ厳しい現場で行方不明者の捜索に当たった。残念ながら、発見にはつながらなかったが、救助犬の訓練などを担うNPO法人災害救助犬静岡専務理事の市川金子さん(58)は掛川市に「少しでも、必死の作業を

続ける救助隊の助けになれたい」との思いで活動を支援した。

参加したのは県内から集まったラブラドルレトリバーのゴン(12)、ウィル(5)、ジュリエット(1)アド(7)。厳しい訓練を重ねた捜索のズベチャリスト、で、5人の同NPO会員と共に災害現場に足を踏み入れた。

災害救助犬は現場で移動しない人間のおいを嗅ぎ分け、行方不明者が居る可能性の高い場所をピンポイントで特定し、効率的な救助の一助を担う。災害発生当日から出動の準備を始め、受け入れ態勢の整った11日から活動を開始。土石流で住宅地が流され一面が土砂で埋まった現場を、粘り強く土質の泥に足を取られながら進んだ。地面にガラス片など危険

物があるか確認してから救助犬を放し、人間の足がすねまで埋まる深い土砂の下に行方不明者がいないか探し続けた。連日の暑さや突然の雷雨などにも苦しみながら、泥まみれで作業した。

20人以上いる会員はほとんどが一般の飼い主で、救助犬も家に帰れば普通の愛犬。野営や力仕事も必要な厳しい活動を支えるのは「愛犬を役に立たせたい」という思いだ。これまでも、東日本大震災や広島土石流災害など全国の多様な災害現場で活動してきた。

熱海の土石流災害はいまだに16人の行方が分かっていない。救助隊長を務めた金原優海さん(36)は「浜松市には一刻も早く皆さんが見つかり、復興へと進んでほしい」と願った。

①写真の4頭の災害救助犬はどのような現場で、行方不明者の捜索に当たりましたか。

(例)  
大量の土砂が流れ込んだ厳しい現場／熱海市伊豆山で発生した大規模土石流災害の現場／土石流で住宅地が流され一面が土砂で埋まった現場／人間の足がすねまで埋まる深い土砂のある現場 など

②これらの犬はどのようにして行方不明者のいる場所がわかりますか。

移動しない人間のおいを嗅ぎ分け、行方不明者の居る可能性の高い場所をピンポイントで特定する。

③これらの犬の飼い主は、どのような人たちで、どのような願いを持っていますか。記事から読み取って40字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

ほ	と	ん	ど	が	一	般	の	飼	い	主	で	、	「	愛
犬	を	役	に	立	て	たい	」	と	い	う	願	い	を	
持	っ	て	い	る	。									

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／総合)